

令和5年度 第1回 城北小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年 4月27日（木） 14時45分から16時20分まで
- 2 開催場所 城北小学校 会議室
- 3 出席委員 岩井弘美子、川嶋 正幸、中川 勝夫、高柳 理子、山岸 絵里
中川 智博、森 聖子、清水 裕人、紙上 理恵
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 大野木龍太郎(静岡大学) 山口 朋章（高台協働センター）
井下 俊輔（はままつ青少年の家）
- 6 学校支援コーディネーター
- 7 学 校 山内登志弘（校長）、小嶋 澄華（教頭）、中村 朝実（CSディレクター）
- 8 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 中村 朝実
- 11 会議記録

司会の小嶋教頭から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）会長の選出及び副会長の指名について

司会から、会長の選出について意見をもとめたところ、川嶋委員から岩井委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。またその後会長に選任された岩井委員から、川嶋委員を副会長に指名する旨の報告があった。

（2）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、清水委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議無くこれを承認した。

（3）学校経営の基本方針説明について

議長の指示により、山内校長から、学校運営方針（グランドデザイン参照）について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・合言葉が「自分から」→「やさしさ」に変わった理由は何だろうか。「やさしさ」は難しい、やさしさと厳しさは似ているところがある。難しい合い言葉に感じる。（川嶋委員）
- ・他者と違う自分、自分と違う他者を子供たちには伝えてほしい。少しの違いを認められずいじめにつながることもあるので、自分がされて嫌なことは人にしないという基本的なことをメッセージに変えることで「やさしさ」につながるのではないか。（森委員）
- ・もっと違いを認められると良い。（岩井委員）
- ・やさしさというのは相手を理解できるか、自分に自信があるか、それが無いと攻撃してしまう。競争についてもいろいろな意見があるが、勝った後、負けた後の教育が大事。（中川委員）
- ・親としてはまず、学校に行ってほしい。漠然としていても分かりやすい「やさしさ」の言葉は良いと思う。（山口さん）
- ・昔は生き物ががりがあつたり動物を飼つたりしていた。花でもいいので何か育てるとやさし

さにつながるのでは。(紙上委員)

- ・育てた後に授業でお互いに感想を言い合うのが良いのではないかと気付ける。1年生と6年生のペアで行っても良い。(森委員)
- ・グレーゾーンの子が多い気がする。個性として捉えて解り合えると良いクラスになりやすさにつながる。(山岸委員)
- ・大人の声掛けが大事。クラスの先生が会議に出られると良い。(森委員)
- ・時代が変わった。昔は明るくハキハキ→今は人と関わらなくても仕事できる。学校も多様性に対応していく必要がある。(中川委員)

協議の結果、全員異議なく、承認された。

(4) いじめ防止等のための基本的な方針について

議長の指示によって、校長から、いじめ防止等のため基本方針について説明があった。

(5) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、活動内容が確認され、承認された。

その他報告事項等

やらまいかについて

- ・年度初めのことは、2～3月から準備できると良い。学校と連絡を取り合うことが大事。子供たちから「こうしたい」と意見を出してサポーターと相談して行えれば自分から発信したことが形になったら良いと思う。(紙上委員)
- ・何回も地域に発信させることが大事。決まった事や活動してきた事、考えている事を月1回回覧できたら良い。(清水委員)
- ・年代のギャップがすごい。ペーパーとインターネット両方でやっていくことが大事。(森委員)

司会から、次回会議は、令和5年6月8日(木)14時30分から城北小会議室で開催する旨の報告があった。